

6 月 17 日 : VN 指数はもみ合い (VN-Index -0.40%)

- 先週末の下落に歯止めがかかり、今週の VN 指数は上昇して取引を開始した。
- しかし、市場の投資家心理は未だ芳しくなく、不安定な推移となった。
- 後場は先週末の終値を下回る推移となり、大引けまで軟調な展開が続いた。
- セクター別では、素材やメディア、旅行・レジャーセクターなどが支えとなった。一方、小売セクターが足を引っ張った。
- 169 銘柄が上昇、275 銘柄が下落、60 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 21.7%減の 23.0 兆ドンとなった。

VN30 指数も続落 (VN-30 -0.51%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、8 銘柄が上昇し、20 銘柄が下落、2 銘柄が変わらずだった。
- SSB (+1.82%)、POW (+1.45%)、HPG (+1.20%)、GVR (1.06%) は 1%超の上昇となった。
- 一方、MSN (-2.31%)、BID (-2.11%)、VIB (-2.00%) などが足を引っ張った。

セクター・個別株の動き

- 先週末、産業貿易省は、中国および韓国産鉄鋼製品に対する反ダンピング措置の調査及び適用に関する文書を提出。これを好感し、HPG (+1.20%) や HSG (+6.79%) を始めとした鉄鋼株が上昇した。
- GVR (+1.06%) は 2024 年次株主総会を開催。2024 年の業績目標として、連結売上高を 24 兆 9990 億ドン、税引後利益を 3 兆 4370 億ドンと設定。前年実績と比較し 1~2%増となることを目標とした。
- 外国人投資家は 790 億ドンの売り越し。HSG (+6.79%) に買い越しが集まった。一方で、HPG (+1.20%)や FPT (-1.68%)などが売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。